

NPO初の総会を行いました



9月14日に設立から1年の節目として、総会と活動報告会を行いました。当日は、JICA中部の会議室に20名の方に出席いただき、収支報告をはじめ、現地に滞在したメンバーからの報告、スカイプで繋がったベトナムの「学び舎つばさ」の生徒たちとのプレ授業を行いました。発足から1年で第一校舎が完成し、面接して選抜した53名の生徒たちが日本語を学んでいる、などの活動経過だけでなく、今後の課題や活動方針についても参加者の方と共有し、より理解を深めてもらう時間となりました。また、生徒たちとスカイプで会話をすると体験も行き、遠く離れた海の向こうと繋がる面白さを紹介しました。



ベトナム・ファンランで
「JAPAN festival」を開催しました!

9月29日、30日はベトナムの暦で「カテ」という旧正月にあたり、たくさんの人たちが故郷に戻ってきます。その「カテ」に合わせて、NPOのメンバーのティンさんの故郷のHamutanran村、ヴィーさんの故郷のTabeng村の2ヶ所で日本文化交流会「ジャパンフェスティバル」を開催しました。チャム族の昔話「ポーナガル」の紙芝居、のど自慢大会、フラメンコ、習字大会など、日本の面白さを知ってもらおうと、イベントは盛りだくさん。学び舎つばさの先生や生徒たちはもちろん、日本からも上田理事長と5名の仲間たちが駆けつけ、にぎやかなお祭りになりました。特にメインイベントの「のど自慢大会」は日本語限定です! 学び舎つばさで日本語を勉強中の生徒たちが、自分の好きな日本の歌を披露しました。見事優勝に輝いたのは、つばさ1期生のウインタオちゃん。理事長は「ダントツで上手」と絶賛! 優勝したウインタオちゃんには、ファンランのリゾートホテルに家族で一泊ご招待のプレゼントが授与されました♪



やると決めたら絶対やります!



スカイプの生徒さんにも会えました!

このときここで「TSUBASA」に寄す一

瀬尾公彦 (副理事長・高校教諭)



現役バリバリの野球部監督!

人が何かを学ぶということ。学ぶ喜び。言葉にすればそれだけのことである。「教育」や「学校」について論じられる時、それは概して「教える」→「教えられる」と言う構図が前提となる。そのことをまず疑ってみなければならない。

人が主体的に学ぶことの楽しさや苦しさや意義。またその事の人生に於ける意味。学ぶ対象が日本語であっても、その先の人間としての「成長」を見据えての「理想」の学び舎であればと思う。

生徒という名の人間の笑顔が錯覚によるものであってはならない。先生という名の人間も現象に甘んじることなく、深くものを考え、自らを律しつつ、同現代人として自らもまた学ぶ姿勢を示していかなければならない。

共に、このときをこの場所で生きていくことの尊さを、味わえるような「学び舎」であれたらと願う。

スカイプでベトナム人の先生候補に日本語を
 教えてくれる方募集中!



学び舎開校という第一歩を踏み出しましたが、活動はまだまだこれから! 今、次なる学び舎を作るために、新たに3人の先生たちが日本語を学んでいます。そんなベトナム人の先生候補のために、日本語を教えていただける方を大募集しています。ネット環境があって、日本語が話せれば、難しい知識は一切必要ありません。外国語を最も早く、効率よく習得する方法は「できるだけたくさんの人と話をして言葉に慣れること」です。

週に1回、2時間程度だけでもOKです! 彼らの話し相手になってもらえませんか? さらに、少数民族チャム族の彼らが安定して生活するための仕事づくりプロジェクトも同時進行しています。ボランティア始めての方も気軽に参加していただけます。ちょっと気になる...、やってみようかな? という方はお気軽にご連絡下さい!



NPO法人
ベトナムに理想の学び舎を!

個人会員&法人会員も募集中! 詳しくはHPをご覧ください。
<http://www.npo-frm.or.jp/index.html>
 〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目22-16 ミナミ栄ビル606号

Goodoo (グッドゥ) に参加しています。

登録一切不要です。毎日ワンクリックで気軽に応援できます!



編集後記

VRM(ベトナムに理想の学び舎を!)で日本語の先生をしている大矢修造です! 学び舎が少しでも身近になっていただけたら幸いです。今後ともよろしくお願いします!



大学院2年専攻は万葉集!



学び舎つばさ滞在レポート

Vol.1 アキ



5月の竣工も無事終わり、学び舎つばさが本格的に動き出しました。1か月ほど滞在してくれたシミズ理事に代わって現地先生たちのサポート隊として行ってきました！

第1期生たちは、全部で53人。7人から10人がA～Fの6クラスに分かれて日本語を学んでいます。「日本のことを楽しんで伝えられるといいなあ」と滞在中にやりたいことはてんこ盛り！滞在初日からドタバタでした。



つばさで日本語を教える先生たちです！



自習60分
授業90分(たまにskype)
自習60分で1クール

つばさのあるフクニョン村は全員がチャム族。授業もチャム語で行われています。日常からチャム語とベトナム語を使い分けているので、生まれながらのバイリンガルなのです。

【学び舎つばさ時間割】(2016年5月～7月)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	A	B	C	A	B	C	お休み
午後	D	E	F	D	E	F	



習字体験

ひらがな、カタカナの練習の後におまけで教えた漢字にみんな興味津々！次の授業の読み書きの時間に、生徒たちの字が格段にキレイになっていてビックリ！生徒の力と習字の力の相乗効果！

おにぎり作り

始めて食べる日本のお米は美味しかったみたいですが、さすがに梅干しには衝撃を受けていました。インパクトのある体験になったかな？



よさこい踊りとお餅の食べ比べ

8月に来訪予定の瀬尾先生たちと一緒に踊るために、授業でよさこい踊りの練習も。読み書きが得意な子もいれば、歌や踊りから日本語を覚えていく子もいます。五感を使って体験したことは忘れない。これがつばさ流の日本語の学び方です。踊った後のおやつには、日本から持ってきた切り餅を焼いて、きなこまふしと砂糖醤油の2種類の味を食べ比べました。



授業は遠く離れた日本の先生たちがスカイプで参加する時もあります。特に発音は日本の先生の声の聞くのが一番です。この日は瀬尾先生！



日本語を勉強し始めて、3ヶ月。読み書きの基本はしっかりやりつつ、遊びながら日本語に触れています。先生たちのアイデアの詰まった授業も面白い！



右からがんばり屋のタム先生、しっかりもののチャン先生、歌が上手で優しいミ先生。まだまだ新米の先生たちですが、応援よろしくをお願いします。



生徒たちは明るくて元気！教室はいつも笑顔で溢れていました。

先生たちも夜は勉強しています！



毎日授業が終わると「センセイサヨナラ〜!」と帰っていきます。



居候させてもらったチャン先生のお母さんのご飯、美味しかった〜♪



不思議なご縁で活動に関わることになりましたが、ここで出会った生徒たちの目の輝きと可能性を守っていきたく胸が熱くなりました。ベトナム語も英語もわかりませんが、カラゲーつと動く気持ちさえあれば、どんな形でも応援していけることを実感した、実り多い滞在でした。(アキ)